地ケアつながりプロジェクト ～のぼりとミーティング～



令和8年度　第1回 のぼりとミーティング 開催レポート

令和8年 7月 29日（水）14:00 ～ 16:00

@多摩区役所 1階 講堂



42名が参加しました！

プロジェクトの目的

① 「活動団体の『困りごと・やりたいこと』を共有・把握すること」

② 「地域資源を把握し、新たなつながり、新たな取組が生まれる環境・きっかけづくり」

③ 「支え合いの地域づくりの体制・しくみを形成」

当日のプログラム

オリエンテーション

のぼりとミーティングの取組について

第１部

令和８年度の活動報告

① スピンオフ企画　広報ワークショップ by NAGOMI～まちの縁側～

② 第８回活動見学会 @たまふれあいグループホーム登戸新町

③ Cafe POP!広報ブースの活用について

④ 登戸地区の地ケ算の紹介

⑤ 新規参加団体の紹介

第２部

マッチングワークショップ

★団体の強みや困り事を共有しながら、たくさんの団体と顔見知りになりましょう！

第３部

お知らせ・集合写真撮影





本プロジェクトのこれまでの背景や、令和７年度の取組の振り返り、今、川崎市が推進する地域包括ケアシステムと、のぼりとミーティングの位置付けについて説明しました。あわせて、これまでの取組や成果を振り返りながら、本日のワークショップの目的を共有しました。

登戸地区では、団体同士の情報交換や関係づくりを促進し、地域住民による課題解決につなげることを目的として、平成30年に「のぼりとミーティング」がスタートしました。

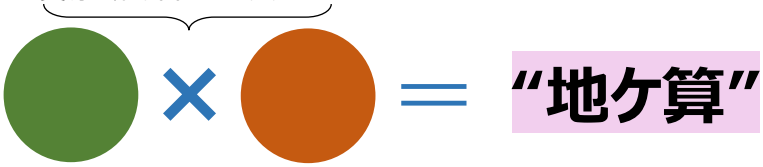
現在は、活動を知り合う段階から一歩進み、団体や地域資源を掛け合わせて新たな活動やつながりを生み出す**「地ケ算」**の考え方を取り入れながら、地域をより豊かにする取組を進めています。

“地ケ算”とは？

今ある取組に、地域の資源をちょっとプラスアルファ・掛け算することで、地域活動が豊かになる取組

※「地域包括ケアシステム」と「かけ算」を組み合わせて生まれた造語

資源をかけ合わせたアクション



令和7年度の交流会では「強み×強み」「困り事×強み」をテーマとした意見交換を通じて多くの「地ケ算」アイデアが生まれ、実際に団体同士の**コラボレーション**や**新たな取組**につながる事例も生まれました。

令和７年度第１回

テーマ：「**強み**」×「**強み**」

⇒**３０件以上の地ケ算アイデア**

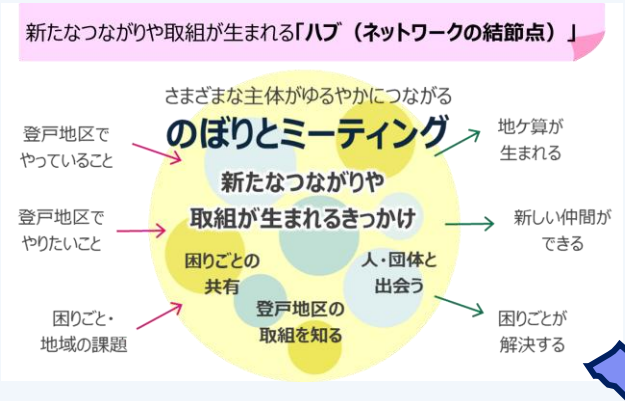
令和７年度第２回

テーマ：「**困り事**」×「**強み**」

⇒**１５件以上の地ケ算アイデア**

こうした取組を通じて、交流が交流で終わらず、参加者同士の出会いや対話から生まれたアイデアが実際の活動として動き出し、のぼりとミーティングが**新たなつながりや取組を生み出す“ハブ（結節点）”**として機能し始めています。

今回のワークショップでは新たな活動アイデアを考えること以上に、多くの参加者同士が交流し、お互いの活動や思いを知ることで、**新たなつながり**のきっかけをつくることを目的として実施しました。



第１部では、令和８年度に実施したスピンオフ企画や活動見学会、地域資源を掛け合わせた「地ケ算」の取組について活動報告を行いました。あわせて、今回から新たにのぼりとミーティングに参加した３団体の活動紹介を通じて、参加者同士がお互いの活動や地域資源への理解を深める機会としました。

※次の①～③の活動は、令和７年度第２回のぼりとミーティングにて、多くの方から挙げられた「困り事」や「アイデア」をもとに、区職員と、のぼりとミーティング参加メンバーにご協力をいただきながら実施された・実施予定の取組です。

①　スピンオフ企画　広報ワークショップ by NAGOMI～まちの縁側～

日　付：令和８年６月２６日（金）
場　所：多摩区役所１１階１１０１会議室
内　容：“広報”に特化した悩みや工夫していることを共有し合うワークショップ
ご協力いただいたメンバー：NAGOMI～まちの縁側～
参加人数：６団体９名　区職員４名



詳細は区HP「地ケ算紹介シート」にて掲載しております！

区HP

②　第８回活動見学会@たまふれあいグループホーム登戸新町

日　付：令和８年７月１３日（月）
場　所：たまふれあいグループホーム登戸新町
内　容：交流スペースをいろんな方に活用いただきたいというご担当者の思いから、活動見学会を実施
ご協力いただいたメンバー：たまふれあいグループ
参加人数：１団体１名　区職員５名







活用実績：保育園児と施設利用者との交流
小学校児童が歌を披露
近所の住民のギターの練習場

活用例：ミニデイサービスや食事会
子育て世帯の交流会や各種団体の会議・講習会
施設利用者と地域住民の自然な交流の場

詳細は区HP「活動見学会NewsLetter」にて掲載しております！

区HP

③　Cafe POP!広報ブースの活用について

日　付：第1回のぼりとミーティング開催後（随時開始）
場　所：Cafe POP!（登戸2974-1　グランデMINAMIⅡ）
内　容：向ヶ丘遊園駅前という立地の良さを生かして、本ミーティング参加団体の活動紹介やイベント等の広報チラシを専用パネルに掲示
ご協力いただいたメンバー：NPO法人療育ねっとわーく川崎 Cafe POP!



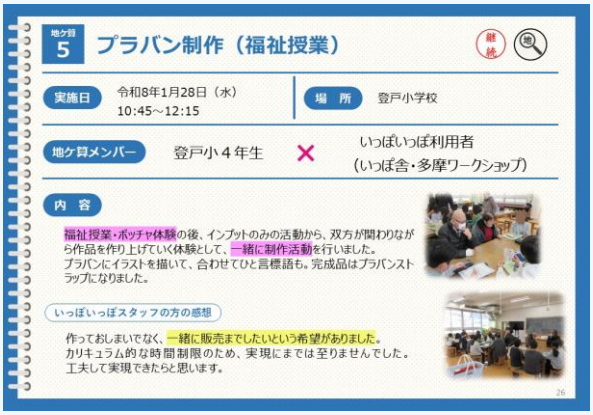


④　登戸地区の地ケ算の紹介

プラバン制作（福祉授業）

内　容：登戸小学校４年生の総合的な学習の時間のテーマは「福祉」。NPO法人いっぽいっぽを利用する障害当事者の方による福祉授業やボッチャ体験、NPO法人いっぽいっぽが手掛けるプラバンの共同制作などを行いました。

地ケ算メンバー：登戸小学校 (4年生)
NPO法人いっぽいっぽ



健活SpotGuide
～明日の健康 コミュニティカフェめぐり～

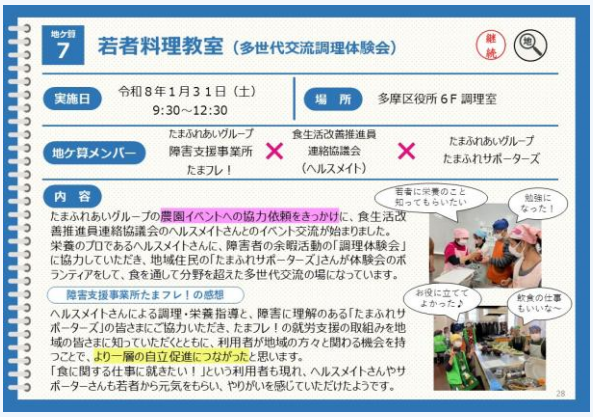
内　容：たまふれあいグループの生活支援コーディネーター（SC）の方が地域の方と一緒に、本ミーティングメンバーである地域カフェなどを訪れ、地域の方の感想などをもとにマップを作成しました。

地ケ算メンバー：たまふれあいグループ
Cafe POP!
NAGOMI～まちの縁側～



若者料理教室
（多世代交流調理体験会）

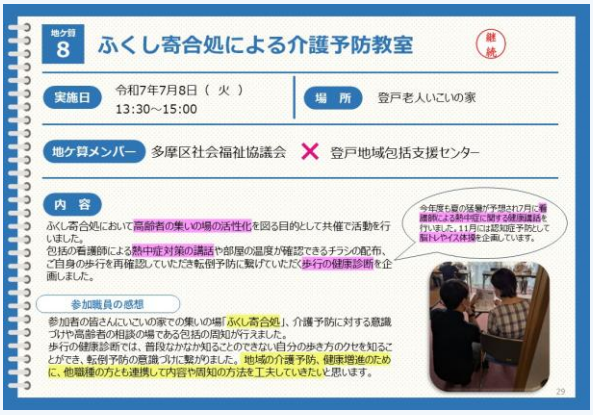
内　容：たまフレ！を利用する障害当事者の余暇活動「調理体験会」に栄養のプロであるヘルスメイトさんに協力していただき、また、地域住民で構成されるたまふれサポータズが体験会のボランティアとして参加し、食を通した多世代交流を行いました。



地ケ算メンバー：たまふれあいグループ 障害支援事業所たまフレ！
たまふれサポーターズ
多摩区食生活改善推進委員連絡協議会（ヘルスメイト）

ふくし寄合処による介護予防教室

内　容：高齢者の集いの場の活性化を図る目的として開催。包括の看護師による熱中症対策の講話や、転倒予防につなげる歩行の健康診断などを実施しました。



地ケ算メンバー：多摩区社会福祉協議会
登戸地域包括支援センター

各地ケ算の取り組みの詳細は区HP「地ケ算紹介シート」にて掲載しております！

区HP

⑤　新規参加団体の紹介

今回の交流会から新たに参加いただく３つの団体の皆様から、その団体が何を目的として、どのような活動をしているのか活動紹介をしていただきました。

◆新規参加団体

1．BLUE多摩川

2．WSG Community Design
WSG　FOOTBALL　CLUB

3．多摩区食生活改善推進委員連絡協議会



第２部では、従来のイスに座ったワークショップではなく、“より多くの団体と顔見知りになる”ことを目的に、自由に歩き回りながら、たくさんのメンバーとお話や交流をする「交流型マッチングワーク」を試験的に実施しました。

マッチングワークショップの概要

【背　景】

- 令和７年度第２回のぼりとミーティングの開催後アンケートで「もっと他の団体とも話してみたかった」という声を多くいただいていた。
- 本ミーティングメンバーの多くは交流会等での出会いから、地ケ算の考え方を用いた交流や取組が自分たちで行うことができる特性にある。

マッチングワークショップを通じて…

より多くの団体とつながり**、お互いの強みや困り事を**知る**ことで、新しい活動や地ケ算のヒントを見つけるきっかけをつくる！**

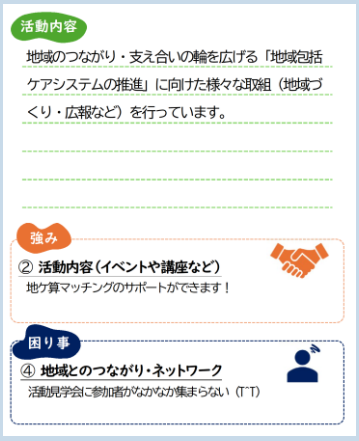
【ワークの流れ】

- ２ラウンド制（１ラウンド２０分）
- 団体名と名前が書かれたゼッケンを各自着用し、団体紹介カードを持ちながら各ラウンド毎で指定されたグループ内を自由に歩き回り、たくさんの人と団体紹介カードを交換し、強みや困り事などを話す。

＜団体紹介カード＞（名刺サイズ×２枚分）



外面



中面



新たなつながりから「地ケ算」の種が生まれています（一部紹介）

食を通した交流や講演会

地域の寺子屋で！

多摩区食生活改善推進委員連絡協議会 × ままとんきっず（寺子屋コーディネーター）
登戸地域包括支援センター
丸山幼稚園

高齢者に向けて！

子育て世代に向けて！

スポーツを通した福祉交流

いっぽいっぽ × WSG FOOTBALL CLUB

いっぽいっぽでやってるボッチャをサッカークラブの子どもたちと！

産前・産後ママのサポート

NAGOMI～まちの縁側～ × ままとんきっず

お互いの得意分野を掛け合わせて！

地域人材インタビュー

登戸小学校（６年生） × たまふれあいグループ（広報担当）

地域で学ぶ未来の主役のために！

自然体験・環境学習

授業の一環として多摩川を案内！

BLUE多摩川 × 登戸小学校（５年生）

参加者の内、約93％が新たなつながりを実感

※39名／42名

※令和8年度第1回のぼりとミーティング開催後アンケートより

- 一気に人脈が広がった
- 異業種間での交流はなかなかできないので貴重だった
- 新しいアイデアの種が生まれた

第１回のぼりとミーティング参加団体一覧

	団体名	参加人数
1	療育ねっとわーく川崎　Cafe POP!	２名
2	SKYかわさき　きたのば	１名
3	KFJ多摩　なのはな保育園	１名
4	KFJ多摩　はなもも	１名
5	登戸地区民生委員児童委員協議会	１名
6	SKYかわさき　はっぴわーく	１名
7	ままとんきっず	２名
8	登戸地域包括支援センター	２名
9	川崎市多摩区社会福祉協議会	１名
10	丸山幼稚園	１名
12	いっぽいっぽ　多摩ワークショップ	１名
13	たまふれあいグループ	５名
14	川崎市立登戸小学校	１２名
15	認知症家族会Together	１名
16	NAGOMI～まちの縁側～	２名
17	多摩エコスタイルプロジェクト	１名
18	川崎YMCA	１名
19	川崎市北部スケートボード協会	１名
20	BLUE多摩川	１名
21	WSG Community Design	１名
22	WSG FOOTBALL CLUB	１名
23	多摩区食生活改善推進委員連絡協議会	２名









のぼりとミーティングってなに？

登戸地区で活動する団体や個人がつながり、支え合いの地域づくりを進めるための交流・連携の場

発足の背景

多くの地域活動団体から「団体は数多くあるが横のつながりがなく、お互いの活動を詳しく知らない」という意見が多くあがったことから平成30年に「のぼりとミーティング」が発足しました。

高齢者サロン：他の団体の活動をよく知らない…

子育て団体：協力できる仲間がほしい

地域ボランティア団体：活動同士をつなげたい

町内会：地域の困りごとを一緒に解決したい

もっとつながりたい！

登戸地区で活動する団体・個人がお互いの活動を知り、交流を深め、一緒になって地区の将来を考えていけるような

「つながり」のきっかけが生まれる場を作ろう！

のぼりとミーティングの取組

支え合いの地域づくり

子ども食堂／子育て支援／健康づくり／高齢者の見守り／障がい者支援／ボランティア活動

1 のぼりとミーティング（交流会） ※年2回開催（出会う・知る）
- 活動紹介
- 仲間づくり
- ワークショップ

新しいつながりや活動アイデアが生まれる

2 活動見学会 ※不定期開催（出会う・知る）
- 子ども食堂
- 子育てサロン
- 健康づくり活動

・活動を見て学ぶ
・地域の取組を知る

活動の輪が広がる

3 地ケ算（一緒にやる）

地域の活動や資源をかけ合わせることで、活動がちょっと豊かになるアイデアのこと

地域活動（人・活動・想い） ＋ 地域資源（場所・人材・モノなど）

健康チェック・相談活動 × 地域カフェ

新しい地域活動

地域活動がもっと豊かになる

4 メーリング配信（知る・つながり続ける）
- イベント情報
- 活動紹介・報告
- 地域情報の共有

地域を知る／つながりが続く

出会う → 知る → 一緒にやる → つながり続ける → 新しい活動や支え合いが生まれる

のぼりとミーティングをきっかけに、新しい活動や支え合いが生まれる地域へ

のぼりとミーティングのついて詳しく知りたい方は

のぼりとミーティング で検索!!!　区HP

地ケ算が生まれる流れ

活動を知る
↓
困りごとを共有
↓
地域資源を知る
↓
アイデアを出す
↓
地ケ算誕生
↓
まずやってみる
↓
新しいつながり

地ケ算ってなに？

地域資源を掛け合わせて、地域をちょっと豊かにするアイデア

困りごと × 地域資源
↓
新しい活動
↓
新しいつながり
↓
地域がもっと豊かになる



小学校と障害者支援施設の 福祉交流

総合的な学習の時間の授業で福祉について学びたい × 障害当事者が講師となる福祉教育ができます！／ボッチャを通した福祉交流ができます！／事業所ではプラバン製品も作ってます！

↓ 地ケ算！

今度は一緒にプラバン制作したいね！

成果：☑ 多世代交流が実現　☑ 分野を超えた交流にも　☑ 継続実施へ発展

登戸いこいの家での まちの保健室

多摩区社会福祉協議会と登戸地域包括支援センター共催の健康まつり × たまふれあいグループ主催の まちの保健室

↓ 地ケ算！

血管年齢測定や骨年齢チェック、健康相談、認知症予防コグニサイズ運動などを実施。専門性を活かした取組！

成果：☑ フレイル予防　☑ 健康増進　☑ 相談につながる場

地ケ算はちょっとした出会いから始まる
↓
今ある活動に、地域資源を少し掛け合わせること
↓
新しいつながりを生み出すこと
↓
地域をちょっと豊かにすること

困りごと × 地域資源 ＝ 地ケ算

出会いが、新しい活動を生む

それが のぼりとミーティングの 地域づくり

地ケアつながりプロジェクト～のぼりとミーティング～
令和８年度第１回開催レポート



お問い合わせ先

多摩区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
地域ケア推進課／地域支援課　登戸地区担当
TEL　044-935-3228
FAX　044-935-3276
Mail　71keasui@city.kawasaki.jp

のぼりとミーティング
HPはこちらから！

